

学校評価を生かし学校・家庭・地域が互いに高め合う コミュニティ・スクール

京都府京都市

活動名

藤城小学校学校運営協議会

関係する学校

京都市立藤城小学校

活動区分	※H25年度の実績(補助の有無についてはH26年度の状況)			
	コーディネーター数	子供の平均参加人数	開始年度	補助の有無
土曜日の教育活動				
学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
放課後子供教室	コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティ・スクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	平成17年10月28日	25人	402人	16学級

活動の概要

○保護者、地域住民の積極的参加による学校教育の改善・充実を推進するために、平成17年10月に設立。様々な形での協力を参加から参画にまで高め、組織づくりを進めることは、学校教育だけでなく、豊かな暮らしやすい地域づくりにつながるものと考え、以下の部会を中心に活動を進めている。

◇教育情報化部会

校区の豊かな自然や地域素材、人材を生かすために、学校が編成したカリキュラムに沿って、ゲストティーチャーや学習ボランティアの派遣など、必要な地域サポートについて話し合い、具体化を行っている。

◇ふれあい活動部会

様々な地域団体が行っている学びや遊び、体験活動を調整し、年間計画を前年度中に作成し、互いに協力し合える体制づくりを確立することで、子供たちの休日がより豊かになるよう取り組んでいる。

◇安全環境部会

PTAや地域の安全委員会など様々な組織が連携し合い、子供たちの見守り活動をはじめ、安全マップづくりや見守り隊シールの配布など、地域ぐるみで活動を進めている。

◇環境整備部会

子供たちが質の高い豊かな空間を自ら作っていくことが学校に対する帰属感を高め、さらに問題解決能力や表現力、行動力を育むことにつながると考え、総合的な学習や放課後の時間に子供たちとともに鉢植や花壇の手入れをしたり、花文字や堆肥施設の整備を行ったり1年を通して自然環境の整備を行っている。

● 特徴

【特徴的な活動内容】

- 4年生の総合的な学習「安心・安全・藤城キッズ」で、子供たちは地域の安全な場所・危険な場所を歩いて調べる等の情報収集をして防犯ガイドブックを作成する。その際、保護者・地域の方が授業支援ボランティアとして、調査の視点を与えたり、実際に活動を見守って助言したりしている。
- 学校評価による子供たちの実態をもとに、規範意識やコミュニケーション能力を実生活でも活用できるよう、地域行事(夏まつり・学区民体育祭・PTAオータムフェスタ・総合防災訓練・もちつき大会)で、大人たちと一緒にスタッフの一員として活動するための支援を行っている。
- 高度情報化社会に対応した学校・地域づくりのために、情報モラルについて広報を行ったり、学校運営協議会・PTA・学校共催で研修会を行ったりして啓発活動を行うことにより、インターネット活用上の注意点など子供たちを取り巻く情報環境を理解し、対応力を高めるための取組を行っている。

【実施に当たっての工夫】

- 学校運営協議会を開催するに当たっては、会長・各部会長・学校が事前に協議し、話し合いのテーマや重点項目(学校評価に関することなど)について確認している。そして、各部会での話し合いの時間を十分に確保し、課題を共有できるように、それぞれの部会長がテーマに沿って話し合いを進めることにより、円滑かつ、有意義な話し合いができるようにしている。また、それぞれの活動を振り返る機会を設定し、次の活動に生かせるようにしている。
- 子供たちが主体的に取り組めるように、授業支援の前には、単元の学習の中で子供と授業支援ボランティアが関わる機会を設け、学校からは支援者に対して事前に授業のねらいを伝えている。防犯マップづくりのために各グループと一緒に行動した際にも、支援者はすぐに答えを教えるのではなく、課題を自分で発見できるように支援することを心がけて子供たちと関わっている。
- 地域人材をリスト化することで、必要に応じて豊富な人材を授業に生かすことができるようにしている。また、大学教授や区役所の支所等とも連携し、教育効果をさらに高められる工夫ができないかを念頭に置きながら、取組を進めている。

● 事業を実施して

- 総合的な学習をはじめ、各教科において地域の人材が活用され、子供たちの学習に役立つだけでなく、地域にとっても子供たちと共に学ぶ良い機会になっている。
- 子供たちは、地域のイベントに児童スタッフとして大人とともに活動することで、コミュニケーション能力や積極性を高めることができたり、また子供同士で協力することもできていた。
- 保護者・地域の方からも「人と人とのつながりを広げる各種団体の行事に子供たちや先生が参画していることで藤城学区の目指す地域づくりに大いに貢献している。」「地域行事の中で子供たちがスタッフとして活躍し、どの行事も盛り上がる。」「大人も児童に対して丁寧に接することを通して、自らの活動や生活を振り返り、見直すことにつながっている」等の前向きなご意見をいただいている。



学校運営協議会での「熟議」の様子



夏まつりで子供スタッフとして活動している様子

● その他

「藤城やまざくら通信」…学校運営協議会として毎月作成している広報誌。平成27年1月時点で第152号まで発行している。学校教育を核とした豊かな地域づくりのため、学校行事や地域団体等の活動情報について掲載し、校区内全戸に配布している。